

## 近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

出入済帳文

寶曆十一年二月

70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30

経済学部  
研究室  
5Z  
2143

東大  
21

寶曆十一年

出入海證文

辛巳二月日

中村山氏



55267

卷中一札事

一 下野國於寶邪取社村當言於後後  
寶院新丁志十年以前中村方一統惠  
病流以山長檀家相親分消除祈禱  
致德以所野村地乞御山一車如律治事  
天皇改建身為有消除之祈禱仕更  
打續每半年十月音祈禱仕延猶亦之  
年惠病流以才改祈禱在傷而枕天之

建正山延隆寺<sup>物り</sup>按檢修法相坊山常淨師味  
奉願皆期上之

一 相子園村龍門寺普之念龍門寺境内是又  
谷月之中川筋山卷山如去年以前五年燒失  
仕甚之云云川滿水之燒内火山即牙地頭捐  
引 祈禱門寺支那某師堂近來云云老捨將  
稱古之傳教、内津池天王之社有、牙  
何言、建正山、款村役人相如山如十年  
以前、建正山流山、款村中、建正山、  
相如山、款村役人、  
云祈禱仕、款村役人、  
其後、款村役人、  
祈禱札、款村役人、  
俄去、款村役人、  
尚法、款村役人、  
者、款村役人、  
是、款村役人、





相立此年奉書必以之彈書家也取拂以  
儀之法靈院修法之障也及志母之有中  
上之此牙必以之彈書始年寄百姓以爲是  
以味以如右天去建身之場所觀心当地月志  
云之取世村地先編山年集村特之場如  
中奉前村對立同惠病流以爲法靈院  
障法光也代行特相取政建之也以後  
法靈院持之每年六月十日昔以特修以

以上檀象北相配以故之觀心寺在門八  
之界白海觀門寺別當如觀山儀寺之山  
如當年猶示惠病流以爲法靈院  
如取行特政修以杖天立山地也觀門寺  
理書之板檢以分法靈院之出入也及以必  
之奉寄百姓也之障以儀也之有中上之  
以如大家和村也之相取法靈院行特之  
上以建之也山天立之觀門寺寺地引物



第壹書卷建屋別當勸修寺之始爲法道  
院一代親重山寺相傳小澄文村役人百姓大  
連平宗親因守家後重山寺中分難相  
立其之地民不不相親親親後建寺  
山院石塔之首以味法出忘一言之中被  
云卷出何板此後身出卷中上換身之  
版双方一同中之山係今日小堀土佐後  
山内宗合於山列序此作後山忘十年以系  
編山波建身山親守寺他到智山長村  
役人百姓連平之書守親守相傳山院  
繪卷之山親守別當勸修後忘身之  
法道院持之由親親之儀七叔叔中張  
山院不傳思山寺必有深書百姓一同忘  
成法此法卷山親親之社建忘山山儀  
是又一同不傳思山寺法道院親守  
亦此法卷山右天王社早建取佛以來乃  
待相親山長志法道院親守法卷於  
完後終山忘攝山右將之神社建

玄波乃安旨法 作渡一因亦知住奉安  
以若相有出若各之由事亦行之法  
作身以爲後證連下孔亦市亦  
仍心以律

日光佛神領

野列於賀那下社村

當山方修發

法寶院

宝曆十一年二月廿日

同陸振 光玉源

同國同郡同村

天台宗

龍門寺

慈悲

年若必心

彈書

仁安寺門

同 文藏

寺社  
御奉行所

一 年寄  
目  
百姓代

法住  
甚務  
儀務  
利務  
市所  
八七

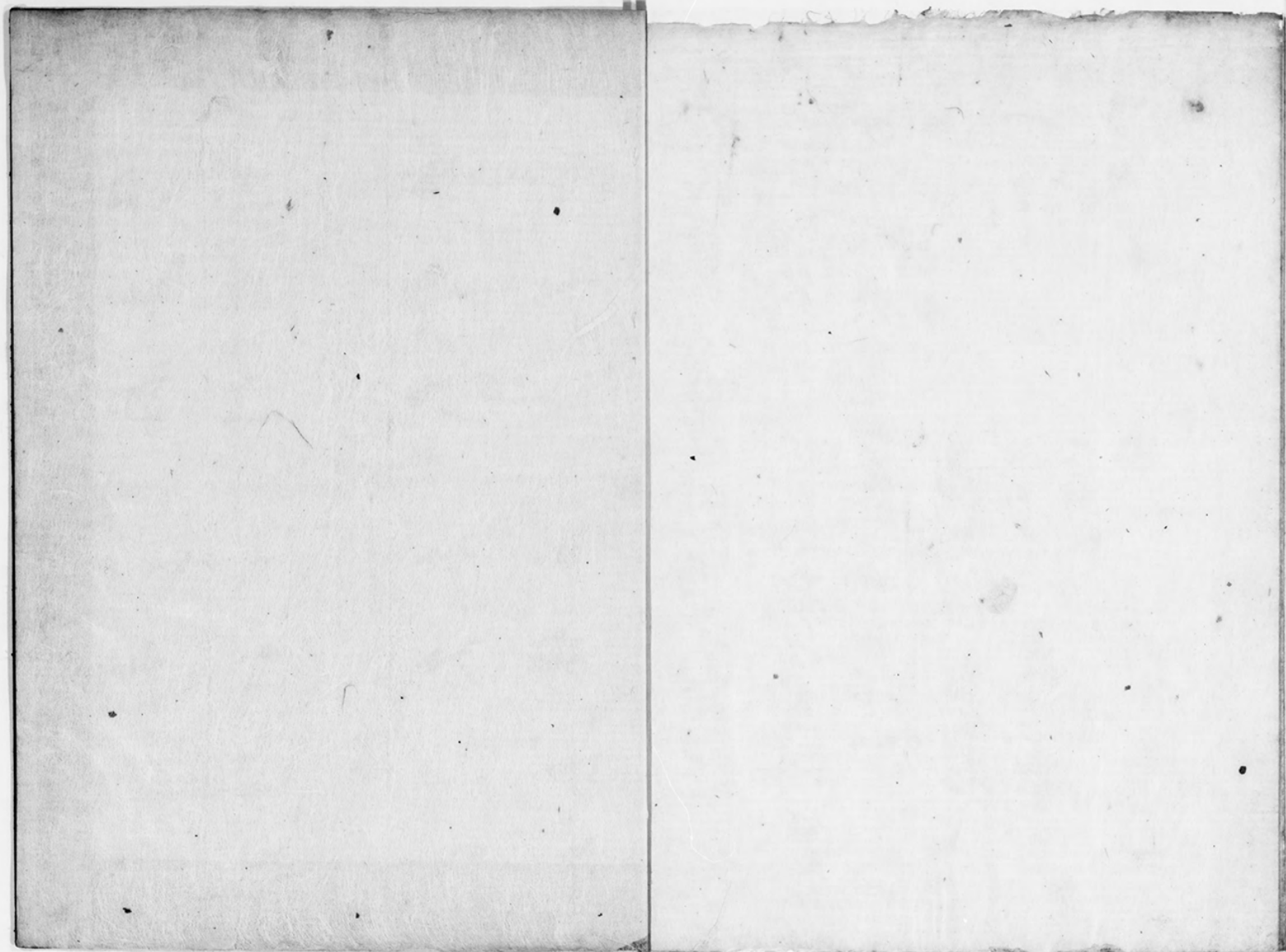
右法寶具院出源因縁在光武御門守  
与急志以头 作渡山親御係光一同御在社  
以係之奥下任御在之申山以之

湯嶋鳳園寺代

大御

工部執事代

吉龍院



济  
2  
3